

# みやのわ創刊50号記念

2003年新年号から皆さまにお届けしております広報誌「みやのわ」が、記念すべき50号の発行となりました。患者さまや地域の方々に済生会宇都宮病院をもっと身近に感じていただくため、これを機に今一度原点に立ち戻り、今後のより良い情報発信へ繋げていきたいと思っております。

今回は、当誌についてご紹介しませう。



職員の顔が見える写真、記事をより多く掲載できるように心がけています。

また、表紙も情報提供の1つのコーナーとして院内や附属施設でのイベント、部署紹介等の内容を織り込んだ職員の写真を使用し、病院や職員のことをもっと知っていただけるよう工夫しています。

## H-Sデザイン賞受賞

2012年には、日本H-S研究センターによる全国医療機関広報誌コンクールに応募し、多くの作品の中からH-Sデザイン賞部門で「長野市市民病院賞」をいただきました。

H-Sデザイン賞とは「広報誌のデザインには編集に加わる医療者としての想いが多分に込められている」という観点から、広報誌のデザイン性を評価するために設立した「コンクル」の賞です。表彰式では審査員より「読めば読むほど、味が出る広報誌」という講評をいただきました。また病院の職員といった「人」を表紙に掲載している点も評価していただきました。

## 「みやのわ」コンパス

「みやのわ」は、「地域と病院を結ぶネットワーク情報誌」として、済生会宇都宮病院に含まれる「みや」の文字に、人々の輪・和を表す「わ」を繋げて「みやのわ」と題し、年に4回季刊発行をしております。

2003年、若手事務職員を中心とした院外報企画編集委員会発足以降、より良い情報を届けるため、印刷・製本以外の作業は全て委員が行い、企画案から誌面のレイアウト、配色等に至るまで全てオリジナルで作成しています。



## バックナンバーコンパス

バックナンバーの問い合わせをいただくことが増えました。病棟のデイルームに設置している他、当院のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



バックナンバーはこちら

## おわりに

「みやのわ」が職員と患者さま・地域の方々を繋ぎ、今後もみやのわがみな情報を発信することで、皆さまとの「わ」(和・輪)を広げていければと考えています。



## 「コンパス」

「絵本のような広報誌」をコンセプトとして掲げ、出来るだけ多くの写真やイラストを用いるよう工夫しています。難しく表現しがちな医療用語も患者さまの立場となつて、わかりやすい言葉に置き換えるようにしています。校正では委員全員で記事を全て読み返し、色使い、字の大きさ、行間等まで配慮しています。

## 読者アンケートの実施

情報提供にあたっては、定期的に読者アンケートを実施し、読者の年齢層や要望等にできるだけ沿った内容を提供できるように、随時リニューアルを行っています。働く人々にスポットをあてた記事の要望が多いことから出来たページが「笑顔の★マイスター」です。

## 『みやのわ』

### 創刊編集委員長に聞く

創刊編集委員長  
事務部 経営支援課 係長  
上野 宏文

記念すべき創刊号を発行したのが、今から13年前の2003年1月です。

創刊号から現在まで発行したすべての「みやのわ」の表紙に必ず「地域と病院をむすぶネットワーク情報誌」という文言が入っています。これは、当時の若手事務員が立ち上げ時に掲げた強い想いであり、それを変わらず継続した形で、50号を迎えられたことは大変うれしい限りです。

当院のビジョンであります「地域と共に進化し続ける病院」と同様、今後も地域の皆さまに進化し続ける「みやのわ」が発行されることを期待しております。



【みやのわ創刊号】

## 『みやのわ』ができるまで

- 1 院外報企画編集委員会 開催
- 次号の構成の企画。
  - 各ページの担当者を決める。



- 2 原稿執筆依頼と収集
- 各担当者は、原稿の執筆を依頼。
  - 締め切り日には、原稿を収集する。



- 3 誌面レイアウト作成
- 委員会事務局は、パソコンで誌面のレイアウトを作成する。



- 4 記事の校正
- 事務局が作成した記事を委員全員で校正する。



- 5 印刷・製本
- 校正が完了したら、印刷・製本を業者へ依頼する。

